

入門期の文法指導

溪内 明

(東京都足立区立第十中学校)

1. 入門期指導の変化と役割

この数年の間で、入門期(中学1年の4月～5月上旬頃、教科書本課に入る前の時期)の指導方法、内容が変化している。小学校で英語活動を経験して中学校に入学した生徒は、既にあいさつや自己紹介ができる。食べ物、動物、スポーツ等の語彙を知っていて、発音することができる。I like soccer. と自分の好みを言うことができる。Do you have a sister? などの簡単な質問に、Yes. / No. で答える生徒も珍しくない。新しい『学習指導要領』にある通り、小学校で「音声や基本的な表現に慣れ親しんで」入学してくる。

数年前には、4月の最初の授業で教師が英語を話す時、驚きの表情を見せる生徒が多くいた。小学校で英語活動を経験した今、それを新鮮と感じる生徒は少ない。

中学校の入門期指導の内容は、それに対応して変化してきている。小学校で親しんだ音声と語彙を十分に生かし、文字を導入する前から、本課で扱われる言語材料を見通しながら、文をしっかりとらせるようにしている。私はこれを最初の文法指導と位置づけている。

2. 入門期指導の3つの柱

私の授業では、入門期の指導に(1)語彙(2)文法・表現(3)文字の3つの柱があり、4月～5月上旬にかけて、原則として1時間の授業の中で、3つを平行して指導する。

(1) 語彙の指導においては、身近にあるもの、教室の中にあるもの、自分の持ち物、食べ物、動物、スポーツ、家族、身体の部分、色、形、基数、序数、

教科の名前、曜日・月・天気などの単語を、絵や実物を使って導入し、発音できるように指導する。小学校での学習経験を生かすようにしている。(2) 文法・表現の指導については、次の項で詳しく説明する。(3) 文字指導では、アルファベットを発音して書く練習まで行う。Lesson 1 開始前には、Let's Start で扱われる単語を書けるようにする。

3. 入門期の文法指導

入門期の文法指導では、前節で紹介したカテゴリーの語彙を活用しながら、該当する文法事項を音声で導入し、口頭練習を行う。文単位で発話することを徹底的に教え込まれるのは、小学校の英語活動では経験しなかった部分であり、「英語の授業は英語で行う」という教師の姿勢を示す場でもある。日本語による文法説明は一切行わず、全て、教師と生徒で、または生徒同士で音声のやりとりを重ねることで、英語の文に慣れさせることが目的である。

扱う文法項目は以下の通りである。教科書(NEW CROWN BOOK 1)のLesson 1～4あたりで扱う文法事項も意識している。この時点で、前もって触れておけば、教科書本課で学習する際に、大いに理解の助けになる。

【入門期で扱う文法事項】

- ① I / you
- ② I am Ken. / You are Emi.
- ③ Your pen? Yes. My pen. [No. Not my pen.] / Whose pen? Kumi's pen.
- ④ This is my book. / That is your book.
- ⑤ My favorite food is sushi. / Your favorite food is *udon*.
- ⑥ What is —'s favorite color?

His [Her] favorite color is white.

⑦ Who is this girl?

She is Sazae-san. She is Tarao's mother. They are good family.

⑧ I have two brothers. / You have a sister.

⑨ This is my cup. / These are my cups.
/ That is your box. / Those are your boxes.

⑩ What time is it? It's 10:30. / One plus three is four.

⑪ When is your birthday? My birthday is January 11th.

4. 入門期の文法指導の例

(1) my / your の導入

my / your は、持ち物を表す語を学習したあとで、次のように導入している。

T : (袋の中から持ち物を取り出し) What is this?

Ss : Pen.

T : Yes. (自分を指して指しながら) My pen.

T : What is this?

Ss : Triangle.

T : Yes. My triangle.

(さらに2, 3の持ち物を同様に話題にする。)

T : (1人の生徒に近づき) What is this?

S1 : Eraser.

T : Yes. (生徒を指しながら) Your eraser. What is this?

S2 : Ruler.

T : Yes. (生徒を指して) Your ruler. (教師が自分の定規を出して) My ruler.

(さらに3名の生徒と同様のやりとりをする。)

T : (教師が自分の消しゴムを取り出し) My eraser.

(生徒の消しゴムを指して、同じことを言うように促す。)

S3 : My eraser

T : Good. Your eraser.

(さらに同じやりとりをくり返し、my / yourの意味を理解させる。)

(2) his / her の導入

his / her は、色の名前を学習したあとで次のように導入している。

T : You can see many colors on the board. What is your favorite color?

Ss :

T : My favorite color is blue. I like blue.

(I like ~. は小学校の英語活動で学習している場合が多い。)

What is your favorite color?

S1 : Green.

T : Good. Your favorite color is green. What is your favorite color?

(さらに数名と同じやりとりをして、4人目くらいから、徐々に文を言わせて練習させる。)

S2 : My favorite color is white.

T : Good. What is S2's favorite color?

S3 : White.

T : Yes. His favorite color is white.

(さらに同様のやりとりを行い、his / herを聞かせる時、徐々にhis / herの区別が理解できてくる。4人目くらいから、徐々に文を言わせて練習させる。)

T : What is S4's favorite color?

S5 :

T : His? Her?

Ss : Her!

T : Yes. Her favorite color is yellow.

S5 : Her favorite color is yellow.

数名と同じやりとりを行い、自力で言えるようにする。

5. 最後に

入門期の文法指導では、文字を提示しないで文法(文型)を導入するので、分かりやすい状況を設定して、十分に語句や文を聞かせている。そのあとで徐々に口頭練習を行う。(これは、本課に入ってから文法指導にも共通していえることである。)また、毎回の授業で既習事項の振り返りを行い、新しい文(文法事項)をプラスして提示するようにしている。スパイラルに文を増やすことで、生徒は、言えることが増えていくと実感できる。また、授業の最後に「今日はどんなことが言えるようになったか」を日本語で書かせて、家庭でも振り返りができるようにしている。